



わたうち

令和7年2月6日
No.18
太田市立綿打中学校



〔令和6年度 学校スローガン〕
全員が主役！誰一人取り残さず 感動と笑顔が輝く 活力あふれる綿打中学校



第2回学校評価アンケートの結果および今後の方策等について



令和6年度第2回学校評価アンケートでは、お忙しい中、ご回答をいただき、ありがとうございました。

皆様からいただいたアンケートの結果をもとに、職員で各項目の改善策や今後の方策等について検討をしました。綿打中の生徒が日々充実した学校生活を送ることができるよう、教育活動の改善により一層努めてまいります。保護者の皆様にも、ご理解とご協力をお願いいたします。

アンケートは、各項目とも「A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない」の4つの選択肢でした。本校では目標値を「AとBの合計が80～100%」と設定しました。80%に満たなかった回答には色を付けてあります。

①は1回目、②は2回目の回答結果です。「保」は保護者、「生」は生徒の回答結果です。1回目よりも数値が上がった場合は↑、下がった場合は↓、同じ場合は→で表しています。

【Ⅰ 「保護者との連携・協力による信頼される学校づくり」についての評価】

《評価項目》

①学校は保護者との情報共有に努めている。	①保89% 生79%
②学校は家庭との信頼関係づくりに努めている。	②保92%↑ 生75%↓
	①保81% —
	②保82%↑ —

《改善策等》

- 開かれた学校として、引き続きブログや学校だより等で、様々な取組を紹介していきます。
- 教育相談委員会・生徒指導委員会・いじめ対策委員会の連携をさらに図ること、また外部機関・外部人材の力を借りることで、生徒支援の充実を図っていきます。
- スクールカウンセラー等との連携を含め、生徒や保護者の心に寄り添った相談と支援が進められるよう、全職員で共通理解と共通実践を推進していきます。

【Ⅱ 「生徒が主体となる特別活動の充実」についての評価】

《評価項目》

③学校は生徒が主体となる特別活動の充実に努めている。	①保87% 生93%
	②保87%→ 生95%↑

《改善策等》

- 生徒の自己有用感を高めるため、学校行事において引き続き生徒の意見を取り入れ、教員はサポート役として生徒の活躍できる場を増やしていきます。
- 意見の共有の際などにクロームブックを活用することで、発言が苦手な生徒の意見も取り入れ、一人一人の意見を認めていくことで、主体的に考えたり表現したりできる力を高めていきます。

【Ⅲ 「主体的な学びを重視した確かな学力の育成」についての評価】

《評価項目》		
④学校は学習意欲の向上に努めている。	①保61%	生84%
	②保70%↗	生82%↘
⑤学校は学習指導要領を踏まえ、課題解決学習(めあて・振り返り)を推進している。	① —	生75%
	② —	生76%↗
⑥学校は思考力・判断力・表現力の育成に努めている。	①保67%	生80%
	②保71%↗	生85%↗
⑦学校はICT機器を積極的に活用している。	①保47%	生82%
	②保47%→	生87%↗
⑧生徒は家庭学習をする習慣が身についている。	①保42%	生28%
	②保47%↗	生38%↗

《改善策等》

- 生徒が興味をもって取り組めるよう、めあての工夫をします。また、めあてが授業のまとめに繋がるよう、今後も教職員全体で校内研修を行っていきます。
- 引き続き、「振り返りシート（ステップアップシート）」等を活用して、振り返りをしっかりと行い、わかりやすい授業を行っていきます。
- フォーサイト等の生活ノートや学習の記録表を活用して、計画的に学習する習慣を身に付けることができるよう支援し、学習の習慣化を図ります。
- 放課後に「寺子屋」を開設し、生徒が集中して学習に取り組める場を確保していきます。
- 生徒の学力向上に向けて、教職員全体で日頃から情報共有を行い、中学校3年間の見通しをもった指導を行っていきます。

【Ⅳ 「豊かな人間性の育成」についての評価】

《評価項目》		
⑨学校はいじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めている。	①保69%	生86%
	②保76%↗	生78%↘
⑩学校はいじめのない温かい人間関係づくりに努めている。	①保86%	生94%
	②保84%↘	生94%→
⑪学校は生徒に寄り添った支援に努めている。	① —	生64%
	② —	生62%↘
⑫学校は時と場に応じた適切な言動やあいさつの指導に努めている。	①保90%	生93%
	②保90%→	生91%↘

《改善策等》

- 生徒と関わる時間を増やし、生徒が悩みごとを伝えやすい環境を整えていきます。
- 今後も教員側から積極的にあいさつを行い、言語環境を整えていきます。
- 道徳の時間や生徒集会等を活用して、いじめ防止や人権に関する学習を今後も実践していくとともに、実践の様子を学校だよりやホームページなどで発信していきます。

【Ⅴ 「安全教育・学校安全・危機管理」についての評価】

《評価項目》		
⑬生徒は交通安全やマナーを守って交通事故にあわないよう安全に自転車に乗っている。	①保85%	生94%
	②保86%↗	生95%↗

⑭生徒は地震や火災などの災害時に自分の身を守る方法を理解している。	①保84% 生84%
	②保81%↘ 生80%↘
⑮学校は安全対策や施設管理の管理を適切に行っている。	①保92% —
	②保92%→ —

《改善策等》

- 「交通ルールやマナーなどを守っている」という意識だけでなく、実際の行動につながっていることが保護者や地域の方にも伝わるよう、引き続き指導していきます。
- 避難訓練については、自分事として考え、災害時には自分の生命だけではなく、小さな子や高齢者の生命も守っていくという意識をもてるよう指導していきます。
- SNSに係る事件等を取り上げ、自らを危うい立場にしたり、犯罪に関わったりしないよう、情報モラル教育を進めていきます。
- 道徳や学活の時間だけでなく、外部組織とも連携して情報モラル教育を進めていきます。
- 安全主任を中心に点検内容の再確認をし、不具合については学校施設管理課等との連携を図りながら、迅速に対応します。
- 今後も生徒の安全面を第一に考え、日常的に校舎内外の巡視に努め、施設整備・管理に努めます。

【VI 「望ましい生活習慣の確立や運動習慣の形成」についての評価】

《評価項目》	
⑯食事・運動・睡眠を意識して、健やかな体づくりに努めている。	①保78% 生81%
	②保76%↘ 生79%↘
⑰生徒のゲーム・SNS・動画視聴等の時間は、1日当たり2時間未満である。	①保24% 生28%
	②保40%↗ 生34%↗
⑱生徒は運動に親しんだり体力づくりに積極的に取り組んだりしている。	①保77% 生82%
	②保75%↘ 生83%↗

《改善策等》

- 保健委員会からの呼びかけを通じて、歯磨き週間の期間中だけでなく、継続的に歯磨きの実施を促していきます。
- 家庭科主任、栄養教諭、養護教諭など、様々な専門性を持つ教職員で連携し、より充実した保健指導を実施していきます。
- 保健だより等を通じて、生活習慣や食事、体力づくりなどの健康に関する情報をお知らせします。
- 今後も、生徒集会などで保健に関する題材を取り上げ、生徒の関心を高められるよう工夫します。
- 運動の楽しさを味わうために、目標記録を高めたり、球技大会などの活動を増やしたりして、運動することで得られる達成感を高めていきます。
- 家庭でも取り組める運動を紹介し、自主的に取り組めるようにしていきます。

【VII 「キャリア教育の推進」についての評価】

《評価項目》	
⑲学校は自分の将来や生き方、進路などについて考える指導をしている。	①保72% 生66%
	②保79%↗ 生67%↗
⑳進路や将来の夢について家庭で話す機会をもつようになっている。	①保84% 生61%
	②保88%↗ 生68%↗

《改善策等》

- 学校で取り組んでいる様々なキャリア教育について、進路通信等で紹介したり、保護者と一緒に考

えたりする機会を増やしていきます。

- キャリアパスポートにただ書かせるだけでなく、キャリアパスポートの本来の意義と必要性を生徒や保護者に伝え、自分自身の成長につなげられるよう活用していきます。
- 「ようこそ先輩」として、卒業間近な3年生から「なぜその高校を志望したのか」「どのように受験に取り組んだか」などを聞くことにより、進学に対して具体的なイメージがもてるようにします。
- 「未来授業」では、各種の職業の方からその仕事の特徴や魅力を話していただき、職業に対して早くから興味・関心をもてるようにします。

【Ⅷ 「環境教育」についての評価】

《評価項目》

①学校はISO活動(エコ活動や環境教育)に努めている。	①保78%	生64%
	②保81%↗	生48%↘
②家庭では、エコ活動(地球環境にやさしい活動)に取り組んでいる。	①保83%	生81%
	②保86%↗	生76%↘
③地域における環境保全活動等に積極的に参加している。	①保25%	生27%
	②保22%↘	生21%↘

《改善策等》

- 委員会や学級の係が節水や節電、紙の節約等の呼びかけを行うなどして、日頃の生活の中でエコ活動を意識して生活できるようにします。
- アルミ缶回収や給食の残量調査など各委員会の活動を周知し、主体的に協力できるようにします。
- 環境委員会のエコスクールチェック表の内容を学校全体で共有し、一人一人が意識できるようにします。
- 学年だよりやブログ等を通して、ISO活動について地域や家庭に啓発していきます。

1回目の学校評価では、80%に満たなかった回答の中で、特に気になった項目として以下の2点を挙げました。2回目の結果では、それぞれポイントが上がっていることがわかりました。

⑧生徒は家庭学習をする習慣が身についている。	①保42%	生28%
	②保47%↗	生38%↗
⑦生徒のゲーム・SNS・動画視聴等の時間は、1日当たり2時間未満である。	①保24%	生28%
	②保40%↗	生33%↗



家庭学習については、定期テスト前の計画的な学習ができるようになったことが、日々の家庭学習の習慣にもつながったようです。「忘却曲線」など、脳科学的な情報も紹介しながら、これからも「復習することの大切さ」を伝えていきます。確実に覚えるまでには、時間をかけることが大切です。「ワーク3周」は当たり前になすなど、繰り返しを大切にしてください。

またスマホやゲームの時間についても、「2時間未満」の回答が増えました。睡眠時間は7～8時間は必ず確保できるよう、寝る時間までの過ごし方を工夫しましょう。大谷選手など、一流選手は睡眠をととても大切にしています。十分な睡眠で頭も冴えます。

今後も、よりよい綿打中にしていくために、ご意見やアドバイスをよろしくお願いいたします。